

## 新規設備投資により「自家製あん」の生産性と品質の向上を図り、経営力の強化を行う

看板商品の「岩どら」は、三木屋の最大の特長である「あん」の美味しさを引き出す商品である。今回、自動どら焼き機および自動包装機を導入し、主力商品の製造に係る全ての工程を機械化。増産体制の整備と製造時間の大幅な短縮を実現した。

### 取組の背景 作業全体の効率化を目指して

「あん」は和菓子の命であり、同社の商品にも欠かせないもの。現在、和菓子業界においては、多くの中小企業が大手企業から「あん」を購入し、独自の塩梅で調整している。そのため、自家製あんは他社と差別化が図れる大きな要因となる。以前から当社の強みである自家製あんの生産能力を高めるために、自動製あん機、豆煮機の導入を行ってきたが、その後の工程は手作業だったため、機械の性能を十分に発揮できず、生産性の向上にはつながらなかった。そこで、新しい機械を導入することで、作業全体の効率化、事業承継に向けた製造体制の強化を目指した。



機械化を進め  
自社の強みを強化

### ADVICE

目的を明確にして  
ストーリー性のある  
ものづくりを

補助金申請はこれまで何度もトライしてきましたが採択されたのは初めてです。申請書の作成にあたっては岩国商工会議所に大変お世話になりました。

コロナ禍において、高額な設備投資を行うのは容易なことではないかもしれませんが、ピンチのときこそチャンス。チャレンジすることによって、改めて会社の強みや経営状況、将来のビジョンなど、見えてくることもたくさんあります。大切なのは、どんな未来を実現したいのか。まずは目的を明確にして、ストーリーを描いてみてください。もちろん数字的な裏づけが欠かせません。採択後、5年間は報告書が必要になるので、しっかりとした事業計画を練ることをおすすめします。



代表取締役 三木 栄作

### 今後の展望

ビジネスチャンスを拡大するために

あんづくりは三木屋の得意とするところ。その強みを活かして、将来的には「岩どら」と「いが餅」の2商品で売上の50%を占めたいと考えています。現在は、地元の固定客がほとんどですが、岩国市の人口の1割を占める岩国基地駐留のアメリカ人も大きなマーケットと捉え、販促物の英語表記なども進めています。また、DX時代に向けて、エアレジおよびエアペイを導入し、経営判断の材料となる販売管理業務も強化させました。今後は、新たなビジネスチャンスを開拓するために「事業再構築補助金」の獲得も視野に入れたいと思っています。

## 取組内容

主力商品に関わる全ての工程を機械化

これまでに導入した自動製あん機、豆煮機に加えて、今回新たに自動どら焼き機、自動包装機を導入することで、「岩どら」の全ての工程を機械化。生産能力は2倍になり、コスト削減にもつながった。

#### 1) 自動どら焼き機 SDR-SGA 小型どら焼専用焼成機 (ガス仕様)

当社の主力商品である「岩どら」の皮を自動で焼く小型どら焼き機。

従来の機械は、単なる鉄板であり、サイズや焼き具合が微妙に揃わないこともあり、一定の品質を保つことが難しかった。また、焼け具合を確認しながら、手作業で裏返す必要があった。

今回の機械の導入により、上火と下火を使って一気に焼けるようになった。

#### 2) 自動包装機 KBF-702eb型横ピロー包装機

以前は全ての商品において、ラップ包装から商品シールの貼付、賞味期限の表示等まで、手作業で行っていた。

今回この作業を機械化することで、製造工程を大幅に省力化。さまざまな商品の包装に対応できるようになり、省資源化にもつながった。



自動包装機

### 取組成果 製造時間を短縮し、品質の安定性を確保

「自動どら焼き機」の導入により、上火と下火を使って一気に焼くことで、1時間に340個という従来の2倍のスピードで焼けるようになった。上火を使うため、ふっくらと焼ける上、大きさも焼け具合もバラツキがなくなり、一定の品質を保てるようになった。

「自動包装機」の導入により、10名で交代で行っていた

袋詰め作業を2、3名で行えるようになり、2日かかっていた作業が半日でできるようになった。さまざまな大きさの商品を包装できるため、包装費の無駄もなくなった。手で触ることもないため、コロナ禍における衛生面での強化も図れた。

### 有限会社 三木屋

〒747-0017 山口県岩国市今津町1-6-6  
TEL 0827-21-3064 / FAX 0827-21-2200  
<https://miki-ya.jp>  
業種 菓子製造業  
資本金 800万円  
従業員数 11名(令和4年11月)  
1947年創業  
代表取締役 三木 栄作



「日々、本日開店なり」をモットーに、まちのお菓子屋さんとして岩国にちなんだ菓子を製造。バリエーション豊富な「岩どら」、女流作家・宇野千代が好んだお菓子を復元した「いが餅」など、原材料やネーミングもできるだけ地元でちなんだものを使用。商品は空港や道の駅、YAHOO!ショッピングでも購入可能。